

静岡大学・読売新聞連続市民講座 ブックレット発
刊に寄せて

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-07-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊東, 幸宏 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/9765

静岡大学・読売新聞連続市民講座 ブックレット発刊に寄せて

国立大学法人 静岡大学

学長 伊東幸宏

静岡大学創立六〇周年となる二〇〇九年に始まった静岡大学・読売新聞連続市民講座も、今回で7シーズン目となりました。その間のべ受講者数は五四七七名に及び、本学が開催する市民向け講座の中でも最大規模のものとなっています。

今年度は「生きる」を考える」をテーマとし、このブックレットでご確認いただけるように、身近でありながら奥行のある問題を、哲学・生物学・文学・死生学・家族社会学と多面的な視点で読み解く、総合的な講座となったと自負しています。

読売新聞東京本社静岡支局には企画・実施の協力のほか、毎回の講座の詳細を記した詳細記事を掲載いただきました。直接聴講できなかった多くの読者・市民の方々にも静岡大学の教育・研究・社会連携の成果を発信する機会を作っていたいただきました。この度はそれに加え、全5回の講義録をまとめたブックレットを刊行することで、講演会場にいらるような臨場感を味わっていただきながら、講座の詳しい内容もお届けしたいと願っています。

冒頭に述べましたように、この連続市民講座は本学創立六〇周年記念事業としてスタートしました。周年記念事業は単発のイベントで終わることが多いのですが、この連携講座は7年目を過ぎ、次の七〇周年に届きそうな事業に育っています。

受講者の皆様、ならびに読売新聞東京本社静岡支局をはじめとした関係の皆様には、引き続きご支援を賜り、地域に根を張り、かつ地域を刺激し活性化するような講座に育てていただくよう祈念いたします。